

「札幌版次世代住宅基準」に学ぶ

脱炭素社会のスタンダードを目指す 「札幌版次世代住宅基準」

国基準を上回る札幌市による独自の高断熱・高气密の基準。
太陽光発電や蓄電池は、自家使用や防災の観点で小容量の導入でも条件がクリアできるようになっている。

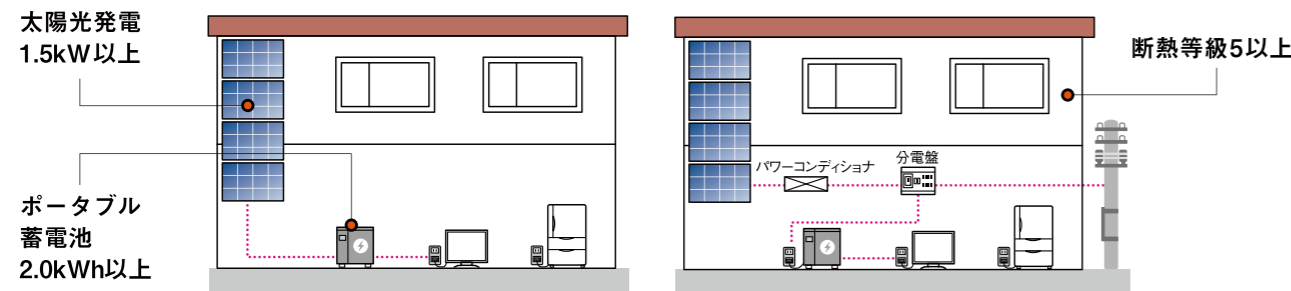
表1 「札幌版次世代住宅」の断熱性能の基準

等級	U _A 値 W/m ² ・K	一次エネルギー消費量 BEI (※)	C 値 cm ² /m ²	補助額 (令和7年度)
プラチナ	0.18 以下	60%以下	新築：0.5 以下 改修：1.0 以下	220 万円
ゴールド	0.20 以下 (断熱等級7)	80%以下 (等級6 または誘導基準)		180 万円
シルバー	0.28 以下 (断熱等級6)			—
ブロンズ	0.40 以下 (等級5 または誘導基準)			—

※ BEI とは、設計一次エネルギー消費量 ÷ 基準一次エネルギー消費量 × 100

表2 「札幌版次世代住宅」のサステイナブル要件

太陽光発電	<ul style="list-style-type: none"> 合計出力が 1.5kW 以上 蓄電設備（蓄電池または電気自動車）と接続すること 電気自動車と接続する場合には、電気自動車と住宅との間で相互に電力を供給できる V2H 充電設備があること
蓄電設備	<ul style="list-style-type: none"> 蓄電容量が 2.0kWh 以上 太陽光発電設備と接続し、太陽光発電が発電する電力を充放電できるリチウムイオン蓄電池（バインド電池を含む）を使用したものであること 蓄電池の電気を住宅のコンセントから使用できる設備を設けること



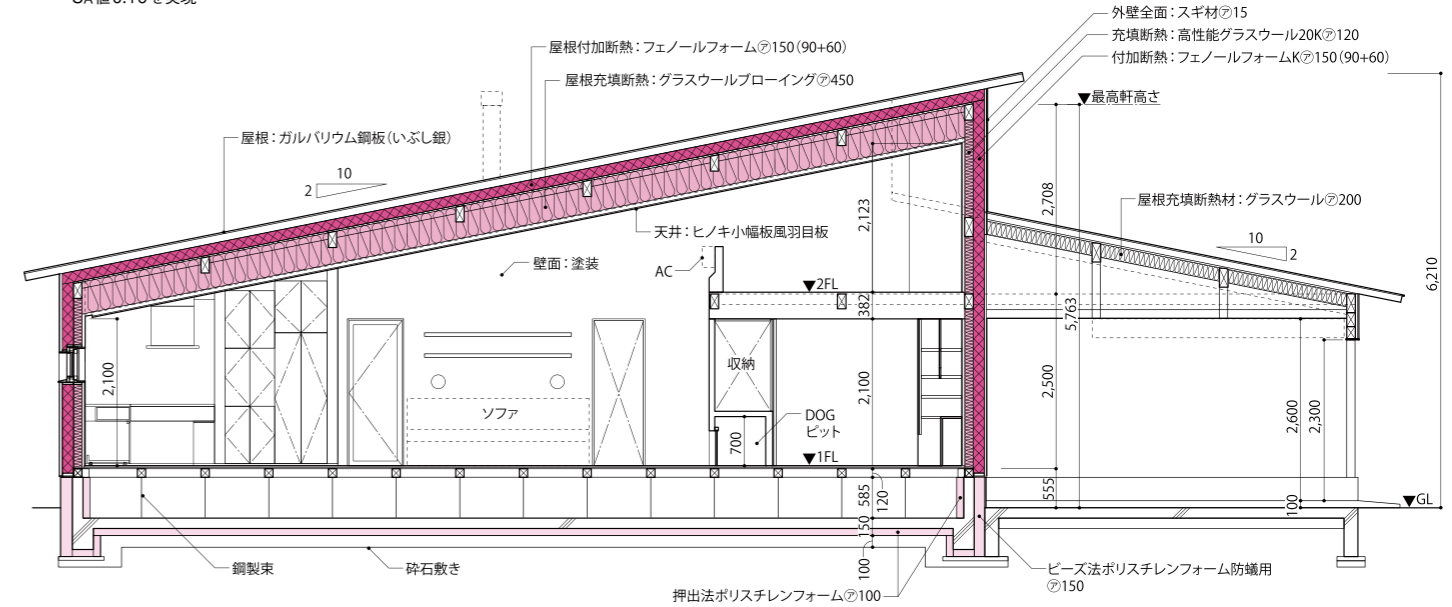
Information
札幌市都市局市街地整備部住宅課
Tel.011-211-2807
「札幌版次世代住宅基準」の詳細はこちら▶



第10回日本エコハウス大賞の自治体賞では、「札幌版次世代住宅基準」のブロンズ以上を満たしている住宅（対象は全国）を募集しています。詳細は46ページをご覧ください。



屋根も外壁も高性能グラスウール+フェノールフォーム断熱材の付加断熱で U_A 値 0.16 を実現



矩計図 (S=1:100)



エアコン1台で賄う
ひとつながりの
コンパクトな住まい

延床面積は、ガレージを除くと29坪程度。すべての部屋がつながっており、冷暖房は1台のエアコンで賄う計画だ。建物もしっかり断熱材に包まれているため、家の中をゆっくり空気が移動し、全体をムラなく温めてくれる。寝室とLDKの出入り口も格子戸のため、閉めても空気の循環は保たれる。また、ファンで床下に空気を引き込めることで、床下も室内と同じくらいの温度が保たれている。1階の床は愛犬が滑りにくいタイル敷きだが、冬にも冷たくて不快ということは

ないそうだ。「家中どこでも快適なので、隅々まで使い切っている感じがします。広く使いたいなら、面積よりも性能が大事だと実感しています」とKさん。週末住宅として建てたものの、今は週の半分をこの家で過ごし、そう遠くないうちに定住する予定だという。家のどこにいても暑さ寒さのストレスがなく、窓の外には自然を感じられるこの家は、「家が暮らしを豊かにする」ことをそのまま形にした実例といえるだろう。